

令和7年3月25日 会頭記者会見 発言要旨

■京都の経済状況について

本所が四半期ごとに実施する、経営経済動向調査の1月から3月期の調査結果がまとめ、BSI 値は国内景気がマイナス 8.8、自社業況がマイナス 8.1 と、ともにマイナスとなりました。国内景気の BSI 値は、新型コロナが 5 類に移行して以来、安定してプラス圏を維持していましたが、2 年ぶりにマイナスに転じました。その背景には、物価高で消費者の購買意欲が低下していることに加え、前回調査の際にも懸念が出始めていましたが、「アメリカの政策が日本経済に与えるマイナスの影響を懸念している」という声が寄せられており、アメリカ・トランプ政権の関税措置による影響の不安感が、今回の悪化の要因となったと考えられます。来期は再びプラス圏へ転じる予想ですが、当面の経営課題で「原材料・燃料高」と「人件費負担の増大」を挙げる企業の割合が伸びていることから、企業の収益回復には、しばらく慎重な見方が必要です。

こうした中、価格転嫁の重要性は、これまでからも申し上げてまいりましたが、今回の付帯調査で価格転嫁ができているかを尋ねたところ、コストが増加している企業のうち、「十分にできている」と答えた企業はわずか 4.1%にとどまり、約半数の 48.4%が「あまり十分とは言えない」、14%が「全く十分でない」と回答しました。価格交渉の協議は 7 割を超える企業で実現しているものの、その上げ幅は多くの企業が不十分だと感じており、「原材料価格の上昇分は転嫁できているが、人件費の上昇分の転嫁が課題だ」といった声や、「競合相手が多く価格転嫁が難しい」などの声が寄せられています。本所では今月、価格交渉促進月間に合わせて、円滑な価格交渉を実践するための動画セミナーを配信しました。多くの方にご視聴いただいております。十分な価格転嫁が着実に広がることを期待しているところです。

今回、もう一つの付帯調査では、設備投資の実績と計画を尋ねましたが、令和 6 年度の実績は、実施した企業の割合が企業規模を問わず前年を上回りました。令和 7 年度に向けては、省力化や情報化といった分野への投資意欲が高まっており、設備投資を計画する企業の割合が昨年調査よりも増えているなど、明るい材料も確認できます。現在、世界では自国第一主義の伸長、国内では少数与党による政権運営など、不確実性が高まっていますが、企業の設備投資意欲を着実に引き出し、成長型経済へ移行する重要な局面であるという認識のもとに、京都企業の成長へのチャレンジを後押ししていくことが必要だと考えています。

■2025(令和7)年度の事業計画について

2025 年度は、塚本前会頭が推進してこられました「VIVID KYOTO セカンドステージ」の総仕上げの年であり、これを引き継ぎつつ、「変革・挑戦」をキーワードに、物価高や人手不足といった経営課題に対し、省力化・デジタル化による生産性向上支援を行うほか、大阪・関西万博をはじめとするプロジェクトを通して、世界に向けて京都ブランドの魅力を発信し、地域経済の活性化に努めてまいります。先ほども申し上げましたとおり、コストが増える中であって、企業は価格転嫁と生産性向上に両輪で取り組む必要があります。

特に省力化・デジタル化による生産性向上は喫緊の課題であることから、既に実施している IT ツールの導入を図る支援に加え、新たに職員を「IT 活用応援隊」と位置づけ、IT 活用に踏み切れない中小・小規模事業者をこちらから訪問し、より踏み込んだ形で支援してまいります。複

雑化・多様化する事業者の経営課題に対しては、引き続き経営支援員を中心に、補助金申請や資金調達、事業承継、そして取引適正化の推進や新事業展開に向けた伴走支援に努めてまいります。

販路開拓支援では、これまでも京都の強みであるオリジナリティある商品やサービスを、商談会などを通じてアピールしてまいりましたが、会員企業からの強い要望もあり、国内市場だけでなく、広く海外にもアピールするべく、取り組みを予定しています。

また、人手不足に対応すべく、次世代の人財づくりにも注力してまいります。これまでに包括連携協定を締結しました、京都府立大学、京都外国語大学、京都産業大学の3大学をはじめとして、企業と学生をつなぐキャリア教育を推進し、京都企業への就職を促すほか、社会人に対しては、京商ビジネススクールで、スキルアップやキャリアアップをしていただけるよう、利用を促進してまいります。

■その他

さて、大阪・関西万博の開幕まであと半月あまりとなり、準備も大詰めに迎えています。来月13日に向けて、ご尽力いただいている現場の皆様には、心より感謝を申し上げます。テストランに多くの応募が寄せられたり、万博を解説する書籍が人気を集めたりと、明るい話題も報道で見かけるようになっていきます。以前から申し上げておりますとおり、開幕すれば間違いなく盛り上がりますので、皆様ぜひ早めに足をお運びください。